

令和3年度

社会福祉法人あま市社会福祉協議会事業報告書

■ 報告概要

あま市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な機能を持つ組織として、あま市や関係機関と連携しながら住民参加による地域福祉活動を展開しています。

令和3年度においても、未だ治まらない新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受け、社会経済活動の停滞をはじめとする「生活困窮」「社会的孤立」に拍車をかけており、「つながり」を大切にする福祉現場にとって、新たな手段を考える1年となりました。

今まで以上に複合的な課題やコロナ禍の影響を受け複雑化した課題が顕在化する中で、既存の福祉制度の狭間から生じる社会的課題に対し、個人・地域の課題を把握し、地域や住民の皆様に寄り添い、地域住民をはじめ、自治会、民生委員・児童委員、ボランティア団体、関係機関などの皆様と協働して問題解決に努めました。

一方で、コロナ禍により仕事や生活等に影響が出た方々へ特例措置による生活福祉資金貸付事業の業務対応に奔走し、担当課職員全員で対応にあたるなど相談・申請業務に努め、あま市が担当する生活困窮者自立支援事業等と連携して、生活に困窮された市民に対して「生活支援」に努めました。

また、本会にて指定管理を担う各福祉センターにおいても、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置により利用休止の措置や利用人数制限などを継続的に対応する中で、市民・団体の皆様にご不自由をかけることにもなりました。

現在も感染予防対策を行い、少しずつではありますが以前のように地域福祉の拠点としての機能を取り戻そうとしています。

令和3年度における重点目標に掲げました「福祉人材育成事業」では、あま市で不足している介護・障がい福祉分野の人材確保のため、「介護職員初任者研修」を実施して福祉人材育成に努めるとともに、「災害・防災への啓発事業」においても、防災NPOや関係機関の協力のもと、12月に「親子防災体験」と3月に「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を開催して、多くの市民に対し参加を促して災害、防災への意識啓発などに努めました。

介護・障がい事業では、あま市においても感染拡大の波（第四波、第五波、第六波）による影響が「利用自粛・利用控え」などとなり、経営を圧迫する厳しい状況となっています。

今後更なる効率化を目指すべく、不採算事業所の統廃合に向けた目標を定め

るとともに関係機関との協議を行います。

その他、関係機関等と連携し、以下の各種事業を実施しました。

■ 報告内容

(1) 企画・広報事業

①まるっとあま（社協だより）

市民に対して本会の活動状況及び事業等の情報を発信するとともに、より見やすく、親しみやすい情報誌の作成に努めました。

◆発行 年4回（4月・7月・10月・1月）

◆作成部数 146, 500部

内訳	4月	36, 450部	7月	36, 600部
	10月	36, 700部	1月	36, 750部

令和2年度

作成部数 145, 100部

内訳	4月	36, 200部	7月	36, 200部
	10月	36, 350部	1月	36, 350部

②ホームページ（スマートフォン対応）

随時更新することで、日頃の社協活動をはじめ、福祉に関する情報提供を行うことや各種申請書等もダウンロードできるように利便性の向上に努めました。

◆閲覧件数 14, 041件

令和2年度

閲覧件数 14, 972件

③SNSの活用

LINE公式アカウントを使用し、登録をされている方々に本会の活動状況及び事業等の福祉の情報を積極的に発信し、認知度の向上や事業参加の促進等に努めました。

◆登録者件数 807件

令和2年度

登録者件数 697件

○福祉出前講座の推進

出前講座を通じて、本会の事業や取組に対し職員を講師として派遣を行い、地域福祉への関心を高め、市民との協働による地域

福祉活動と啓発活動の推進を図ることを目的に令和3年度より実施しました。

◆出前回数 1回

(2) 地域福祉推進事業

① 会員募集

地域福祉の推進を図るため、必要な事業財源を確保することを趣旨として、強化月間（6月に法人会員年額1口3,000円、7月に普通会员年額1口500円）として実施しましたが、新型コロナウイルス感染予防の観点から法人会員募集については、銀行振込による会員加入を依頼し、10月以降に改めて職員が訪問して加入に努めるとともに、普通会员を7月、10月に各区会を通じて協力を依頼しました。

◆法人会員 444件 2,304,670円
普通会员 7,276件 5,020,550円
令和2年度
法人会員 440件 2,018,010円
普通会员 7,418件 5,087,772円

② 配食サービス

市内に居住する概ね65歳以上の単身世帯、高齢者世帯、又は身体障がい者であって、食事を作ることが困難な方を対象に、毎週火曜日・木曜日・土曜日（週3回まで利用可能）に1食400円の負担金にて弁当の宅配を行い、合わせて安否確認を実施しました。

◆登録者数 56人
配食数合計 5,078食
内訳 火曜日 1,699食 木曜日 1,691食
土曜日 1,688食
令和2年度
登録者数 39人
配食数合計 2,935食
内訳 火曜日 1,053食 木曜日 817食
土曜日 1,065食

③ 寝具洗濯乾燥消毒サービス

市内に居住する概ね65歳以上の単身世帯、高齢者世帯、又は身体障がい者であって、老衰、心身の障がい及び傷病等の理由により、寝

具類の衛生管理が困難な方を対象に、費用無料で寝具の乾燥・消毒を年4回（4月・8月・10月・2月）、洗濯（※1回につき掛布団・敷布団・毛布4枚まで）を年2回（6月・12月）実施しました。

◆登録数 75人 利用数 287件

令和2年度

登録数 63人 利用数 251件

④車いすの貸出

市内に居住する他制度を利用できない方で、傷病等により車いすを一時的に必要とする方を対象に、1か月を期限として無料で車いすを貸出しました。

◆利用数 194件

内 訳 本 所 109件 美和支所 40件

七宝支所 45件

令和2年度

利用数 153件

内 訳 本 所 83件 美和支所 49件

七宝支所 21件

⑤福祉教育の推進

福祉教育を推進するため、市内の小学校、中学校、高等学校を社会福祉協力校に指定し、児童・生徒が車いす、手話、点字等の体験を通じて学ぶ福祉実践学習の機会を提供すると共に、必要な相談支援を行いました。

◆社会福祉協力校数

小学校 12校 中学校 5校 高等学校 2校

◆福祉実践教室延べ参加数 2,447人

小学校 1,151人 中学校 805人 高等学校 491人

6月17日（木） 美和東小学校 49人

6月29日（火） 甚目寺小学校 105人

7月 6日（火） 美和小学校 196人

7月 7日（水） 秋竹小学校 65人

9月17日（金） 篠田小学校 172人

10月14日（木） 甚目寺中学校 240人

10月20日（水） 五条高等学校 320人

11月 9日（火） 七宝中学校 128人

11月11日(木)	甚目寺南中学校	152人
11月18日(木)	美和中学校	121人
11月19日(金)	美和中学校	121人
11月24日(水)	甚目寺東小学校	98人
11月26日(金)	正則小学校	150人
11月30日(火)	七宝北中学校	43人
12月9日(水)	甚目寺南小学校	139人
12月13日(月)	美和高等学校	171人
12月17日(金)	甚目寺西小学校	177人

その他、小学校3校が感染症拡大防止の観点から中止となりました。

◆保育園児等との交流延べ参加者数

10月23日(水)	昭和保育園(コロナ禍により中止)
11月1日(金)	昭和保育園(コロナ禍により中止)
12月16日(月)	ひかりこどもえん(コロナ禍により中止)
2月20日(木)	五条保育園(コロナ禍により中止)

令和2年度

福祉実践教室延べ参加数 1,428人

小学校 505人 中学校 605人 高等学校 318人

保育園・認定こども園 コロナ禍により中止

⑥健康福祉まつり

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

◆期 日 11月14日(日)

◆会 場 美和総合福祉センターすみれの里他

令和2年度(中止)

期 日 11月8日(日)

会 場 美和総合福祉センターすみれの里他

⑦福祉団体の育成・援護

市内6団体に対して支援を行い、活動の強化及び向上を図りました。

- ◆団体名 ・老人クラブ連合会 ・子ども会連絡協議会
- ・身体障害者福祉協会 ・心身障害児者保護者会
- ・母子寡婦福祉会 ・遺族連合会

⑧たすけ愛協力店

地域福祉活動の推進にご協力いただける市内の店舗、事業所等を「た

すけ愛協力店」と位置付け、身近なところに福祉に関する情報やたすけ愛チャリティボックス等を設置することにより、広く市民の皆様へ福祉の理解を深めていただくことを目的として実施しました。

- ◆設置数 42件
- 令和2年度
- 設置数 41件

(3) 共同募金配分事業

①ふれあい・いきいきサロンの支援

地域に居住する高齢者の方等が、生きがい・健康づくりを気軽に行うことができ、地域交流やたすけあい活動を育む活動拠点として、サロン活動を推進するために必要な相談支援及びサロン運営費の補助を行いました。また、サロン実践者の交流会は感染拡大防止の観点から中止となりました。

- ◆サロン数 29会場
- 内 訳 甚目寺地区 10会場 美和地区 9会場
- 七宝地区 10会場
- 令和2年度
- サロン数 30会場

②ボランティア団体への補助

市内における、無償福祉ボランティアの活動支援を目的として、補助金を交付しました。

- ◆補助対象 無償福祉ボランティア団体（8団体）
- 手話サークル七宝 ○手話サークルじもっ子
- 手話.あま ○手話グループ美和
- ボランティア七宝 ○音訳あま
- 点訳あいうえお
- 美和おはなしグループゲー・チョキ・パー

令和2年度

補助対象 無償福祉ボランティア（10団体）

③車いす専用車の貸出

傷病等により歩行や車両の乗り降りが困難なあま市内に住所を有する方、または親族があま市に住所を有する方に対し費用無料で車いす専用車の貸出を行い、日常生活の便宜や社会参加の促進を図りました。

◆利用数 97件

内訳 通院 60件 その他外出 37件

令和2年度

利用数 64件

④親子防災体験事業

市内に住所を有する小・中学生及びその保護者を対象に、防災に関する知識を身につけ意識を高めるとともに、体験を通して参加者相互の交流を深めることを目的に実施しました。

◆期 日 12月11日(土) ◆場 所 甚目寺総合体育館

◆参加数 32名(大人15名・子ども17名)

⑤心身障がい児・者クリスマス会

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い「心身障がい児・者クリスマス会」の開催を中止し、市内に居住する療育手帳所持者を対象にクリスマスプレゼントの配布を行いました。

◆期 間 12月13日(月)から12月17日(金)まで

◆申込数 88人

令和2年度

申込数 96人

⑥あまのかけあしS(移動援助サービス事業)

市内に居住する75歳以上の単身世帯、高齢者世帯であり、単独で外出が困難で、家族や親族の協力等を得ることができない方で利用時に介助者の同行が可能な方を対象に、市内を実施範囲として月曜日から金曜日までの午前9時から午後5時(3時間以内を制限)の月2回までを限度として、ボランティアによる移動援助サービスを実施しました。

◆登録数 15人 ◆利用数 98回(延べ)

令和2年度

登録数 15人 利用数 83回(延べ)

⑦小・中学校入学児童生徒への祝品

《小学校入学児童祝品》

市内における小学校へ入学する児童を対象に、学校生活において必要な文房具類を祝品として支給しました。

◆支給数 779件

令和2年度

支給数 732件

《中学校入学生徒祝品》

コロナ禍におけるひとり親世帯を支援するため、令和3年度より市内外における中学校へ入学するひとり親世帯の生徒を対象に図書カード等を祝品として支給しました。

◆支給数 32件

⑧ボランティア団体福祉啓発活動助成事業

赤い羽根募金配分金を活用し、地域における福祉的課題に取り組む活動団体に対し、公募助成を行いました。

コロナ禍のため、公開プレゼンテーションは行わず、令和4年2月にボランティアセンター運営委員会による書面審査等を行いました。(令和4年5月に1団体へ7万円の助成を行います。)

◆交付団体

○あま市アレルギーの会

令和2年度

交付団体2団体(各10万円助成)

⑨福祉人材育成事業

介護・障がい福祉分野における福祉人材確保のため、未経験介護職希望者に対し、介護職員初任者研修を行い、あま市内における福祉人材不足の解消と就労の機会を提供しました。

◆期日 令和3年11月13日(土)から令和4年2月26日(土)

◆受講者 8人

(4) ボランティアセンター

ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい方とボランティア活動に来てほしい方を繋げ、ボランティア活動の機会を広く提供すると共に、ボランティア活動の輪を広げ、情報の提供や各種講座を開催し、地域支援活動に関するボランティア相談や支援を行いました。

◆登録者数 個人 119人 団体 115団体(2,011人)

令和2年度

登録者数 個人 113人 団体 105団体(1,962人)

①ボランティアセンター運営委員会

ボランティアセンターの事業推進及び機能充実を図るため、運営委員会を設置し、ボランティア事業について協議をするとともに、今後のボランティアセンターにおける方向性等を検討し、ボランティア活動の活性化に努めました。

◆運営委員会 2回開催

◆期 日 第1回 11月24日(水) ◆会 場 甚目寺総合福祉会館
第2回 コロナ禍による開催中止、令和4年2月に書面会議
を実施しました。

令和2年度

運営委員会 2回開催

期 日 第1回 7月29日(水) 会 場 甚目寺総合福祉会館
第2回 令和3年2月に書面会議

②ボランティア情報の発信

情報誌「まるっとあま」をはじめ、ホームページやSNSを活用し、ボランティアセンター登録団体の紹介や派遣、ボランティア保険への加入などの情報を市民に向けて発信しました。

③ボランティア養成講座の開催

あま市で必要とされるボランティア活動の推進を図るため、総合事業に係る生活支援も含めたボランティア養成講座を開催しました。

○ボランティア養成講座

◆期 日 8月7日(土) ◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆受講数 14人

○手話奉仕員養成講座

令和2年度に引き続き、コロナ禍のため中止となりました。

○移動援助サービス協力員養成講座

◆期 日 12月3日(金) ◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆受講数 6人

④安心支え合いネットワーク事業

市内に居住する65歳以上の単身世帯、高齢者世帯を対象に「見守り、声かけ、お助け、安心電話」の活動からなる、ボランティア活動を実施しました。

◆ネット員登録者数 146人

- ◆利用登録者数 146人
- ◆利用サービス別人数 見守り 43人 声掛け 38人
お助け（ゴミ出し・買い物支援） 27人
安心電話 91人

令和2年度

- ネット員登録者数 126人
- 利用登録者数 156人
- 利用サービス別人数 見守り 48人 声掛け 43人
ゴミ出し 28人 安心電話 100人
買い物支援 2人

⑤ボランティアフェスティバルの開催

市民活動センターとの共同運営による「第5回あまのわ（社協ボランティアフェスティバル×市民活動祭）」を開催し、ボランティア団体及び市民活動団体による活動紹介・展示コーナーをはじめ、ミニ講座、物販コーナー等を催し、住民参加によるボランティア啓発活動を行いました。

◆期 日 11月20日（土）～11月26日（金）

◆来場数 約470人 ◆会場 七宝産業会館

令和2年度

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

○西尾張ブロックボランティアフェスティバル

西尾張ブロック内のボランティア交流や活動紹介などをはじめ、地域を超えたつながりや周知啓発を図り、また、新たな担い手発掘や活性化を目的とした「西尾張ブロックボランティアフェスティバル」が稲沢市にて開催され、運営等に参画しています。

また、コロナ禍における開催であったことから、実施可能な市町村社協において、会場間をつなぐライブ配信（パブリックビューイング）を行い、感染予防対策に努めました。

◆期 日 12月18日（土）

◆会 場 名古屋文理大学文化フォーラム（稲沢市民会館）

◆参加者 ボランティア団体（3団体 6人）

令和2年度

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

⑥ボランティア保険の加入

ボランティア保険加入者の活動中におけるケガ等による傷害保険・賠償保険の受付窓口を行いました。

◆ボランティア活動保険 1, 860人
(団体 120団体 個人 81人)

◆ボランティア行事用保険 41件 ◆事故報告 3件

令和2年度

ボランティア活動保険 1, 903人

ボランティア行事保険 4件 事故報告 2件

⑦災害ボランティアセンター設置・運営訓練

災害ボランティアセンターの設置及び運営手順や注意事項について、職員及び協力ボランティアが相互に認識し、感染症拡大防止対策を講じながら訓練を初めて実施しました。

◆期 日 3月16日(水) ◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆参加者 46人

令和2年度

期 日 3月16日(火) 場 所 甚目寺総合福祉会館

参加者 36人

(5) 介護保険事業

①居宅介護支援(ケアマネジメント)

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、介護支援専門員(ケアマネジャー)が、利用者の心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成し、そのプランに基づいて適切なサービスが提供されるよう、定期的にモニタリングを行い、適宜、事業者や関係機関との連絡・調整を行うと共に、介護サービスを利用するにあたり、介護保険認定調査を本人や家族への面接により行い、心身状況の聞き取り調査を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会居宅介護支援事業所

営業曜日 月曜日～金曜日(ただし、祝日及び年末年始は除く)

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

種 別 居宅介護支援・介護予防支援・介護保険・要介護認定訪問調査・第1号介護予防支援事業(介護予防ケアマネジメント)

- ◆延べ利用数 2, 570人
- ◆介護保険認定調査数 58人 ◆休日・夜間対応件数 23件
令和2年度
- 延べ利用者数 3, 012人
- 介護保険認定調査数 63人 休日・夜間対応件数 3件

②訪問介護（ホームヘルプサービス）

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、訪問介護員（ホームヘルパー）が利用者の自宅を訪問し、食事・排泄・入浴等の生活の支援（生活支援）を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会訪問介護事業所

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、必要と認められる場合は休日及び営業時間外において可能な限り対応いたします。）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

種 別 訪問介護・第1号訪問事業（訪問従来型サービス・訪問基準緩和型サービス）・あま市ホームヘルプサービス

- ◆延べ利用数 3, 785人

令和2年度

延べ利用数 3, 915人

③通所介護（デイサービスセンター）

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、社会的孤立感の解消や心身機能の維持並びに、ご家族の身体的・精神的な負担の軽減等を目的として、事業所において日帰りで食事や入浴等の日常生活上の支援や生活機能向上のための機能訓練等のサービスを行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会甚目寺デイサービスセンター

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

提供時間 午前9時50分～午後4時

事業場所 あま市甚目寺総合福祉会館

種 別 地域密着型通所介護・第1号通所事業（通所従来型サービス及び通所基準緩和型サービス）

事業所名 あま市社会福祉協議会美和デイサービスセンター

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分
提供時間 午前9時50分～午後4時
事業場所 あま市美和総合福祉センターすみれの里
種 別 通所介護・第1号通所事業（通所従来型サービス及び通所
基準緩和型サービス）

事業所名 あま市社会福祉協議会七宝デイサービスセンター
営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）
営業時間 午前8時30分～午後5時15分
提供時間 午前9時50分～午後4時
事業場所 あま市七宝老人福祉センター
種 別 地域密着型通所介護・第1号通所事業（通所従来型サービ
ス）

◆延べ利用数 9,681人

甚目寺デイサービスセンター 2,093人
美和デイサービスセンター 5,696人
七宝デイサービスセンター 1,892人

令和2年度

延べ利用数 11,525人

甚目寺デイサービスセンター 3,002人
美和デイサービスセンター 6,288人
七宝デイサービスセンター 2,235人

(6) 地域包括支援センター（委託型）

地域で暮らす高齢者やその家族が安心して暮らせるように、福祉、医療、介護等の様々な面から総合的な支援を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会地域包括支援センター
営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）
営業時間 午前8時30分～午後5時15分
事業場所 甚目寺総合福祉会館・美和総合福祉センターすみれの里・
七宝老人福祉センター

①指定介護予防支援業務

介護保険において、予防給付の対象となる要支援1・2と認定された人に対して、要支援状態の改善や重度化の予防のために介護予防支援を実施し、申請手続き、契約、介護予防プラン作成、給付管理等の業務を実施しました。

また、業務の一部（アセスメント、介護予防プラン作成等）について、65件（市内28件・市外37件）の居宅介護支援事業所に委託しました。

- ◆延べ利用数 5, 389人
- 令和2年度
- 延べ利用数 5, 122人

②介護予防ケアマネジメント業務

介護保険において、介護予防・生活支援サービス事業の対象となる要支援1・2、事業対象者と認定された人に対して、要支援状態の改善や重度化の予防のために介護予防ケアマネジメントを実施し、申請手続き、契約、介護予防プラン作成、給付管理等の業務を実施しました。

また、業務の一部（アセスメント、介護予防プラン作成等）について、65件（市内28件・市外37件）の居宅介護支援事業所に委託しました。

- ◆延べ利用数 3, 475人
- 令和2年度
- 延べ利用数 3, 596人

③総合相談支援事業

高齢者に対するワンストップサービスの拠点として、地域に住む高齢者の様々な相談を受け止め、適切な機関、制度、サービスにつなぎ、継続的に支援しました。

- ◆延べ相談数 11, 078件
- 令和2年度
- 延べ相談数 11, 011件

④権利擁護事業

高齢者が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、高齢者虐待や消費者被害の相談対応・防止啓発、成年後見制度の利用支援・周知等を市職員及び関係機関と連携し実施しました。

- ◆延べ相談数 220件
- 令和2年度
- 延べ相談数 195件

⑤包括的継続的ケアマネジメント事業

(1)サービス事業者連絡会

サービス事業者間のネットワークづくり及び、適切なサービス提供について研修するとともに、介護保険制度や社会資源についての情報提供や情報交換を行い、介護に携わる人々のスキルの向上を目指しました。

◆期 日 7月20日(火)～3月10日(木) 全4回

◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆延べ参加数 78人

令和2年度

延べ参加数 92人

(2)居宅介護支援事業所交流会

居宅介護支援事業所の介護支援専門員を対象に、ケアマネジャーのネットワークづくり及びケアマネジメント業務に関する研修会を通して情報提供や情報交換を行い、スキルの向上を目指しました。

◆期 日 4月20日(火)～12月14日(火) 全4回

◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆延べ参加数 140人

令和2年度

延べ参加数 89人

(3)地域ケア個別会議

個別ケースの課題検討を行い、各分野の方々の理解と多職種間の連携を深め、その中で地域課題の発見等につながるよう会議を開催しました。

◆延べ検討数 15件

令和2年度

延べ検討数 8件

(7)生活支援体制整備事業(委託型)

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、高齢者の身近な生活を支援する環境づくりを推進しました。

①相談・活動件数

◆延べ数 603件

令和2年度

述べ数 488件

②周知啓発活動

- ◆生活支援コーディネーターだより（まるっとあま掲載）3回
 - ◆社協ホームページで生活支援体制整備事業の周知
 - ◆出張講座 1回 ◆出前講座 1回
- 令和2年度
生活支援コーディネーターだより 年2回発行
社協ホームページで生活支援体制整備事業の周知
甚目寺協議体でテイクアウト一覧表を作成し、中日新聞で掲載
出張講座：全3回

③協議体

生活支援等サービスの体制整備に向け、多様な主体間の情報の共有、連携及び協働による資源開発等を推進するための話し合いの場の整備を行う。

(1)第1層協議体(あま市全域)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

(2)第2層協議体(七宝地区：3回・美和地区：3回・甚目寺地区：4回)

(3)3地区協議体合同交流会

- 期 日 10月12日(火)
- 場 所 七宝焼アートヴィレッジ 交流ホール
- 参加数 42人

(4)生活支援体制整備事業における体制や取組等に関する意見交換会

- 期 日 8月19日(木)
- 場 所 あま市役所甚目寺庁舎
- 参加数 12人 ※先進地である犬山市との意見交換を実施。

令和2年度

(1)第1層協議体(あま市全域)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

(2)第2層協議体(七宝地区：1回・美和地区：2回・甚目寺地区：3回)

(3)3地区協議体合同連絡会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

(4)視察研修会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

④社会資源の開発

(1)協議体から地域課題による社会資源の創出

住民主体による生活支援サービス団体への支援 5件（伊福地区）
令和2年度

住民主体による生活支援サービス団体への支援 1件（伊福地区）

(8) 指定管理受託事業

※就労継続支援B型及び生活介護は、障がい福祉サービスに記載しております。

①福祉センター

総合的な福祉サービスを提供するとともに、市民の健康の増進と福祉活動を助長し、社会交流及び福祉の向上を図り、各種相談、入浴、教養の向上及びレクリエーションのための便宜の供与を行いました。

名 称 美和老人福祉センター

七宝老人福祉センター

開館日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

開館時間 午前8時30分～午後5時15分

利用時間 午前9時～午後4時

中止期間 5月12日～5月31日、8月29日～9月26日及び
6月～9月の間はワクチン接種会場のため午後休館。

◆延べ利用数 美和老人福祉センター 30,375人

七宝老人福祉センター 31,449人

令和2年度

延べ利用数 美和総合福祉センターすみれの里 10,940人

七宝老人福祉センター 11,305人

②地域福祉センター

あま市甚目寺総合福祉会館内において、地域における福祉活動の拠点として、地域住民の福祉ニーズに応じた各種相談、入浴・給食サービス等の活動の場を提供し、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を行いました。

名 称 地域福祉センター（あま市甚目寺総合福祉会館内）

開館日 月曜日～土曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

開館時間 午前8時30分～午後5時15分

利用時間 午前9時～午後5時

中止期間 5月12日～5月31日、8月29日～9月26日及び

6月～9月の間はワクチン接種会場のため午後休館。

◆延べ利用数 7, 662人

令和2年度

延べ利用数 5, 930人

(9) 障害相談支援事業

市からの受託による一般相談を行うと共に、指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業として、身体・知的・精神に障がいのある方及び難病の方等を対象に日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談等の支援を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会障害相談支援事業所

事業内容

- ・総合的な相談支援
- ・福祉サービスの利用援助及びサービス等利用計画の作成
- ・社会資源を活用するための支援
- ・社会生活力を高めるための支援
- ・生活の継続に必要な直接的な支援
- ・専門機関との連携・紹介
- ・障害者総合支援協議会への協力

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

◆延べ相談数 4, 117件

◆相談実人数（内訳）

身体障がい	（障がい者	108人	障がい児	18人）
重症心身障がい	（障がい者	4人	障がい児	3人）
知的障がい	（障がい者	175人	障がい児	129人）
精神障がい	（障がい者	192人	障がい児	19人）
発達障がい	（障がい者	9人	障がい児	30人）
高次脳機能障がい	（障がい者	15人	障がい児	1人）
難病	（障がい者	10人	障がい児	4人）

令和2年度

相談実人数（内訳）

延べ相談数 4, 160件

身体障がい	（障がい者	113人	障がい児	21人）
重症心身障がい	（障がい者	6人	障がい児	2人）
知的障がい	（障がい者	166人	障がい児	141人）
精神障がい	（障がい者	163人	障がい児	15人）

発達障がい	(障がい者	3人	障がい児	48人)
高次脳機能障がい	(障がい者	12人	障がい児	0人)
難病	(障がい者	8人	障がい児	3人)

◆障害支援区分認定調査数 107人

令和2年度

障害支援区分認定調査数 109人

(10) 障害福祉サービス事業

①就労継続支援B型

雇用されることが困難な知的障がいの方に社会参加の場を提供し、生産活動及び生活指導等の支援を行いました。

事業所名 あま市くすのきの家（主たる事業所）

あま市美和ひまわり作業所（従たる事業所）

あま市七宝福祉作業所（従たる事業所）

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

提供時間 午前9時～午後4時

◆延べ利用数 6,993人

くすのきの家 3,550人

美和ひまわり作業所 2,627人

七宝福祉作業所 816人

令和2年度

延べ利用数 7,991人

くすのきの家 3,628人

美和ひまわり作業所 2,966人

七宝福祉作業所 1,397人

②生活介護

常時介護等を必要とする知的障がいの方が安定した生活を営めるように、創作活動や日常生活訓練を中心としたプログラムを提供し、介護や日常生活上の支援を行いました。

事業所名 あま市くすのきの家（西館）

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

提供時間 午前9時～午後4時

◆延べ利用数 1,934人

令和2年度

延べ利用数 2,356人

③居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援

障がい福祉サービスの居宅介護として食事・入浴・排泄介助の身体介護サービスや調理・清掃・洗濯の家事援助サービス等を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会訪問介護事業所

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、必要と認められる場合は、休日及び営業時間外において可能な限り対応いたします。）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

◆延べ利用数 1,645人

令和2年度

延べ利用数 1,566人

④基準該当生活介護

介護保険法による指定通所介護事業者として、地域において生活介護が提供されていないこと等により、生活介護を受けることが困難な障がい者に対して、通所介護サービスを行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会甚目寺デイサービスセンター

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

事業場所 甚目寺総合福祉会館

提供時間 午前9時50分～午後4時

◆延べ利用数 46人

令和2年度

延べ利用数 55人

⑤地域活動支援センター

障がい児者が地域において、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、事業所において、創作的活動又は生産活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図ると共に、日常生活を送る為に必要な日常生活上の支援や生活機能向上のための機能訓練等のサービスを行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会甚目寺デイサービスセンター

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

提供時間 午前9時50分～午後4時

事業場所 甚目寺総合福祉会館

◆延べ利用数 97人

令和2年度

延べ利用数 87人

(11) 総合相談・生活支援事業

①心配ごと相談

民生委員・児童委員・主任児童委員が相談員となり、第1木曜日にあま市美和総合福祉センターすみれの里、第2木曜日にあま市甚目寺総合福祉会館、第3木曜日にあま市七宝老人福祉センターにおいて、午前10時から正午までの時間帯で広く地域住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、社会資源を有効に活用できるように適切な助言を行いました。

◆延べ相談数 9件

甚目寺総合福祉会館 4件

美和総合福祉センターすみれの里 2件

七宝老人福祉センター 3件

主な相談内容：家族・土地・老後の暮らし方等

中止期間 5月12日～5月31日、8月29日～9月26日

令和2年度

延べ相談数 7件

甚目寺総合福祉会館 5件

美和総合福祉センターすみれの里 2件

七宝老人福祉センター 0件

中止期間 4月～6月、1月14日～2月28日

また、愛知県弁護士会に委託し、相談者に対して予約制で、第1・3木曜日にあま市甚目寺総合福祉会館、第2木曜日にあま市美和総合福祉センターすみれの里、第4木曜日にあま市七宝老人福祉センターにおいて、専門的な立場から適確な助言を行いました。

◆延べ相談数 146件

甚目寺総合福祉会館 77件

美和総合福祉センターすみれの里 35件

七宝老人福祉センター 34件

主な相談内容：相続・離婚・住宅・金銭トラブル等

中止期間 5月12日～5月31日、8月29日～9月26日

令和2年度

延べ相談数 100件

甚目寺総合福祉会館 51件

美和総合福祉センターすみれの里 25件

七宝老人福祉センター 24件

中止期間 4月～6月、1月14日～2月28日

②司法書士による相続・登記相談

愛知県司法書士会と共同主催にて事業を実施し、相談者に対して予約制で、奇数月の第4木曜日にあま市甚目寺総合福祉会館、偶数月の最終木曜日にあま市美和総合福祉センターすみれの里、奇数月の第2木曜日にあま市七宝老人福祉センターにおいて専門的な立場から適確な助言を行いました。

◆延べ相談数 42件

甚目寺総合福祉会館 12件

美和総合福祉センターすみれの里 22件

七宝老人福祉センター 8件

主な相談内容：相続・登記・民事一般等

中止期間 5月12日～5月31日、8月29日～9月26日

令和2年度

延べ相談数 24件

甚目寺総合福祉会館 8件

美和総合福祉センターすみれの里 7件

七宝老人福祉センター 9件

中止期間 4月～6月、1月14日～2月28日

③日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

日常生活に不安を抱える認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者の方に対して、専門員及び生活支援員が、福祉サービスを利用する支援を行いました。

また、愛知県社会福祉協議会と連携して、円滑に自立支援サービスを提供しました。

◆契約実人数 6人

令和2年度

契約実人数 7人

(12) 貸付事業

①生活福祉資金貸付事業

低所得世帯等に対して、低利息または無利子で資金貸付と民生委員等による必要な援助指導を行い、経済的自立や生活意欲の助長促進、在宅福祉や社会参加の促進を図りました。

また、新型コロナウイルスの影響を受け、休業などにより収入減少があり、一時的な生計維持のための緊急小口資金特例貸付と失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となった場合に総合支援資金特例貸付により対応しました。

◆新規利用数	1件（教育支援資金）		
	360件（緊急小口資金）	相談数	368件
	332件（総合支援資金）	相談数	306件
令和2年度			
新規利用数	5件（教育支援資金）		
	402件（緊急小口資金）	相談数	486件
	44件（総合支援資金）	相談数	94件

②くらし資金貸付事業

生活の不安定な低所得世帯に対して生活を保全し、経済的自立を助長しましたが、特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）を優先利用して活用いただいたため、実績はありませんでした。

◆新規利用数	0件
令和2年度	
新規利用数	0件

③市つなぎ資金貸付事業

市内に居住する生活保護申請者及び被保護者に対して保護費支給までに、必要なつなぎ資金及び不時の出費の為に必要な資金を無利子で貸付けました。

◆新規利用数	25件
令和2年度	
新規利用数	26件